

国際 470 級 学連艇のラダー・ブレード問題報告

この度、ヤマハ発動機(株) <Yamaha Motor Co. Ltd. (YAMAHA).> 製造の学生向け 470 艇 (国際 470 級学連仕様艇) のうち、2008 年以降に建造された多数の艇のラダー・ブレードが、クラス規則に定められた下限の厚みより薄いことが判明しました。

その状況と今後の日本国内大会での対応、及び再発防止策についてご報告いたします。

※国際 470 級学連仕様艇の製造については、"学生用の特別ルールに基づき、艇体、マスト、ブーム、センターボード、ラダーブレード及びラダーヘッドはヤマハ発動機製に限定されています。

1. 調査内容および対応状況

3 月初旬に、学連仕様艇のラダー・ブレードの厚みが規定よりも薄いのではないかという情報が入り、数大学の艇を抽出し測定したところ、2008 年以降に製造した艇のラダーについて、最小寸法の 20mm が確保されていませんでした。

※国際 470 クラス規則 E4.3(b)では、ラダー・ブレードの厚みは、最小 20mm 最大 24 mm と規定されています。

現在、日本 470 協会と全日本学生ヨット連盟では、学連仕様艇の特定作業を進めており、5 月 21 日時点で把握されているのは以下になります。

- ・ラダー不備と思われる対象校 91 校
- ・調査表提出済みの学校数 42 校
- ・その内、不備のラダー枚数 194 枚中 86 枚

4 月 22 日以降、クラスルールに適合していないラダーの修理・交換を、製造元が無償で行っていますが、完了するまでに 1 年間程度を要することが見積もられています。

2. 日本国内大会での対応について

2014 年 3 月末までの間、国内の主要 3 大会* を除く 470 のレースに対して、国際 470 級学連仕様艇が出場する場合、日本 470 協会および(公財)日本セーリング連盟は、以下のように対処することで、クラス規則 E4.3(b)を変更することについて許可することとします。(470 クラス規則 A6.2 に基づく)

大会主催者はセーリング競技規則 87 に基づき、日本 470 協会にクラス規則変更の許可申請(各レガッタ毎)を行い、レース公示および帆走指示書にクラス規則変更する旨を記載、大会公式掲示板に許可書を掲示する。

*国内の主要 3 大会

- ・第 42 回全日本 470 級ヨット選手権 兼 第 27 回全日本女子 470 級ヨット選手権
- ・JSAF Enoshima Olympic Week 2013
- ・JSAF2014 年度 470 級ナショナルチーム選考レース

3. 問題発生の原因について

(公財)日本セーリング連盟は、加盟団体である日本470協会に対して、国際470級クラス規則に従い、艇の設計、製作の管理を委託しています。(業務委託に関する覚書 第4条6項)

また、ヤマハはISAFの承認を得てオクムラボート販売(株)に製造を委託しています。

今回の問題発生は、オクムラボートでのモールド2種による圧着の強さ(締め方)による製造上の問題と、ラダー計測治具の精度の低さが直接的な原因です。

また、製造を委託しているヤマハの品質管理体制にも問題があるとともに、製造者を管理する日本470協会の計測管理体制に問題がありました。

※日本470協会の計測管理体制について

学連仕様艇は、抜き打ち(サンプリング)によるフル計測を実施していない。

ヤマハの一般艇は、年に1回、抜き打ち(サンプリング)によるフル計測を実施しており、2008年3月、2009年8月、2010年3月にフル計測を実施しているが、2011年以降は生産されていないので実施していない。

4. 再発防止策について

日本470協会はヤマハおよびオクムラボートに、再発防止策を策定するように厳しく指導しました。

オクムラボートでは、精密な治具、並びにデジタル計測による全てのラダー計測を行うこと、製造ライン・品質管理部門の強化を行うことで、既にルールに適應するラダーの生産・納入が可能な体制になっています。また、ヤマハが計測管理の徹底を図る旨の書類を準備中です。

日本470協会の計測管理体制としては、年に1回以上のサンプリング計測を実施することで計測管理を強化する方向で検討しています。(6月14日 日本470協会理事会で審議)

※ここ数年の学連艇の年間生産艇数は20~30艇。

470協会の計測員がフル計測を行うのに、1艇あたり1日程度かかる。全艇のフル計測を実施することは、計測コストが発生することによる経費増および計測員にかかる負担を考えると現実的ではない。

日本470協会
理事長 信時 裕
計測委員長 大庭秀夫

※日本セーリング連盟理事会での承認内容について

日本セーリング連盟理事会では、以下の2点について書面に追加することで本件が承認された。

- 1) クラス規則 E4.3(b)を変更することについて許可しない国内の主要3大会に加えて、国体も追加すること
- 2) 本事案は適切なタイミングで国際470協会およびISAF計測委員に報告すること